

滋賀ロケーションオフィス ニュース

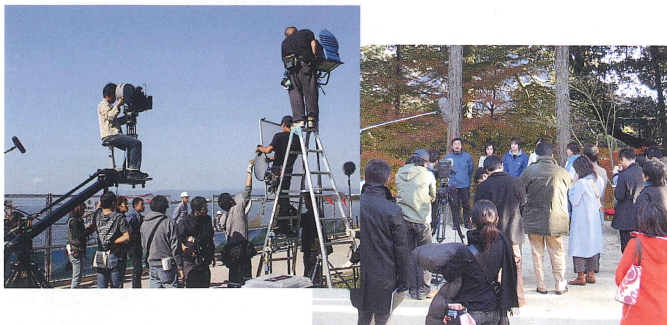


第9号 平成18年(2006年)1月10日発行

発行：滋賀ロケーションオフィス
(社団法人びわこビジュアルズビューロー内)
〒520-0806
滋賀県大津市打出浜2番1号
「コラボしが21」6階
TEL：077-511-1537
FAX：077-523-7555
E-mail：info@shiga-location.jp
URL：http://www.shiga-location.jp

サポーター登録者数 1,718人
(平成17年12月27日現在)

究極の純愛映画「天使の卵」のロケが行われました



“純愛小説のバイブル”として多くのファンを持つ直木賞作家・村山由佳さん原作「天使の卵 エンジェルズ・エッグ」が映画化され、このほど県内各地でロケが行われました。

8歳年上の精神科医・春妃(小西真奈美)に一目惚れした画家志望の予備校生・歩太(市原隼人)の恋の行方を描く純愛作品です。昨年11月に行われた長浜市内のロケでは、工事現場で働く歩太が恋人の夏姫(沢尻エリカ)と再会するシーンが撮影されました。劇中の工事現場は、地元建設会社のご協力を得て夜明け前から準備し、琵琶湖畔の豊公園に本物そのままの工事現場がつけられました。散歩で訪れる市民の皆さんも突如出現した“工事現場”に目を丸くしながら、足を止めてはロケに魅入っていました。

クライマックスシーンは滋賀ロケで

また、12月には湖南市の生田病院で、映画のクライマックスシーンが撮影されました。通常、ロケが極めて難しい病院

撮影ですが病院側のご好意で、移転して使われなくなった旧病院をお借りしてロケが行われました。当日は県北部を中心に平野部でも降雪に見舞われ、暖房の入らない病院内は芯から冷え込み、まるで冷蔵庫の中にいるよう。医師や看護師役などでエキストラとして協力いただいたオフィスサポーターの皆さんも、役柄によっては半袖姿の衣装で震えながら頑張っていました。

この日、ロケの合間をぬってマスコミ取材も行われ、「一つ一つ丁寧に撮影している映像の美しさとともに、人間の性や悲しみを表現できたら」と語るヒロイン役の小西さんのほか、富樫森監督、市原さん、沢尻さん、そして原作者の村山さんがそれぞれ映画にかける想いを語りました。

究極の泣ける純愛映画として、今年の秋に松竹の配給により公開予定です。

エキストラ、参加しました

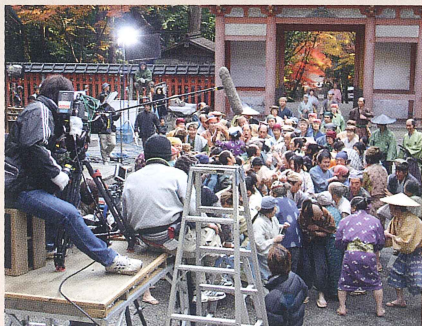
エキストラとしては最高の役をいただきました。小西真奈美さんをストレッチャーで運び病室でベッドに移すシーン。可愛いらしい沢尻エリカちゃんも隣にいて、なんだかまだ夢を見ているかのようです。ストレッチャーで運ぶシーンで車輪に足を踏まれて、ちょっと痛かったけど役は外されたくないから我慢、なんとか無事に終わりました。どうか…カットされませんように!!

滋賀ロケーションオフィスのサポーターに登録して人生華やかな気分です。(笑)

(市橋香苗さん)

天下一の歌舞伎者、波乱の人生を描く

NHK金曜時代劇『出雲の阿国』NHK大阪放送局



踊りに、恋に、命の炎を燃やし、歌舞伎の祖として歴史にその名を残す女性・阿国(おくに)。その波乱の人生を描くNHK金曜時代劇『出雲の阿国』のロケ撮影が、昨年11月、大津市内の

日吉大社において行われました。

ドラマの冒頭、出雲の国から阿国一行が神事で賑わう大坂の天満宮にやって来るシーン、約40名のオフィスサポーターもエキストラとして撮影に協力していただきました。神事の際に神官がばらまく縁起物を求めて境内に走り込んでくる群衆、歓声を上げながら縁起物を奪い合う群衆など、シーンごとに走ったり、激しく揉み合ったり。タイミングが合わずに何度もテストを繰り返すうちに、すっかり息があがってしまう方もいて、エキストラもホント大変とつくづく実感。しかし、しんどい目をしたあとにはお楽しみも。阿国

の踊りを人垣をつくって眺め入るシーンでは、阿国役の菊川怜さんの艶やかな踊りをじっくりと間近で堪能できたのはまさに役得?

参拝客で混み合う紅葉シーズンにもかかわらず、快く撮影を許可していただいた日吉大社のご協力で撮影は無事終了しました。県内では他に大津市の西教寺でもロケが行われています。

放送は、NHK総合テレビで1月13日(金)午後9時15分からスタート。どうぞお楽しみに。

NHK金曜時代劇公式WEBサイト
<http://www.nhk.or.jp/jidaigeki/>

NHK大河ドラマ『功名が辻』いよいよ放送開始

1月8日から放送が始まった『功名が辻』は、昨年8月下旬から9月中旬までの約20日間、県内各地でロケが行われました。

高島市の鴨川河口や甲賀市の野洲川河川敷、東近江市の百済寺、野洲市の兵主大社のほか、ちょっと意外な場所では日野町の県立畜産技術振興センターでもロケが行われています。合戦や行軍シーン、千代が生まれた村での田植えシーン、一豊と千代の再会シーンなど、どんな場所でどんなシーンが撮影されたか想像しながら見るのも大河ドラマの新しい楽しみ方になりそうです。



エキストラ、ボランティアスタッフは延べ750人

オフィスサポーターをはじめエキストラの皆さんは、残暑厳しいなか重い甲冑に身を固めて、織田勢や今川勢に扮して汗だくの熱演。プロ顔負けの演技にNHKスタッフも感心されるほどでした。合戦や行軍シーンの撮影には、準備のために早朝3時や4時集合という日もあり、前日から寝袋持参で参加された方も。また、鴨川河口の荒野に撮影用の水田を造成して行われた田植えシーンでは、農民役のエキストラはほとんどが地元の皆さん。カセットテープに吹き込んだ田植え歌で練習を重ねて、撮影にのぞんでいただきました。



エキストラ部隊の大熱演、大迫力の合戦シーン

ロケーション撮影は地域の一大イベント

野洲川河川敷では台風の影響による水かさを気にしながら、一豊と千代の再会シーンや墨俣一夜城のシーンなどのロケが行われました。また、百済寺は比叡山延暦寺に、兵主大社は熱田神宮に見立てて撮影。200人近いキャストやスタッフ、撮影シーンによっては土木工事なみのセットなど、オフィススタッフも大河ドラマのスケールの大きさにはびっくり。

畜産技術振興センターでは、ロケ撮影と併せて地元の皆さんにリアルタイムでロケ映像を公開するイベントや主演の仲間由紀恵さんと上川隆也さんに対するマスコミ取材会も行われました。



練習成果はこの一瞬に。農民役エキストラの皆さんの晴れ姿

〈エキストラに参加した皆さんから〉

「日曜午後8時はNHK大河ドラマ」それが10数年来の習慣となっている私にとって『功名が辻』のロケ参加は、本当に貴重な体験でした。真夏のロケは朝早くから夜遅くまで行われ、正直つらいものでしたが、「大河ドラマに自分が出演している」という充実感がそんな苦勞を忘れさせてくれました。今年の大河はまた違った視点で楽しめそうです。(K.Tさん)

「桶狭間の合戦」の出陣シーンに出演しましたが、俳優さんたちの緊張感がひしひしと伝わってきました。特に織田信長に扮する館ひろしさんの鬼気迫る表情には正直鳥肌が立ちました。『功名が辻』は私の地元・長浜も舞台になっていて、毎週の放送が楽しみです。

(A.Yさん)



NHK大河ドラマ 『功名が辻』



▲合戦シーンだけに出演者も大人数、支度も行列待ちです



▶桶狭間の合戦シーンでは撮影セットとして織田勢の砦も出現



▲支度を終えてロケ地への移動待ち。ようやく夜が明けられます

◀弁当配りや給水に大活躍。ボランティアスタッフの皆さんお疲れ様でした

『功名が辻紀行』のロケも県内各地で進行中

ドラマの関連番組として、番組の最後に毎回、ドラマゆかりの地を紀行風に紹介する『功名が辻紀行』のロケも昨年10月からスタートしました。

千代のふるさとである飯地区や宇賀野地区(米原市)、織田勢として一豊も奮戦した姉川の古戦場跡(浅井

町)や信長と姻戚関係を結び、のちに敵対する北近江の戦国大名・浅井氏の小谷城跡(湖北町)、また一豊が初めて所領を与えられた唐国地区(虎姫町)ほか、ドラマの進行にあわせて、県内に残る歴史や伝説、ゆかりの品々が美しい映像で情緒豊かに紹介されます。

『功名が辻』の舞台は近江!全国に向けPRを展開

オフィスでは大河ドラマ『功名が辻』のロケ誘致・支援と併せて、ドラマとゆかりの深い北近江地域でプレスツアーを開催しました。首都圏から九州までの新聞、週刊誌などの旅行・レジャー担当記者を招いて、「山内一豊公と千代さま“近江出世街道”をゆく」と題し、ドラマの舞台となる滋賀の取材を企画、全国に情報発信しました。昨年11月のツアー当日は約30名の記者が参加し、北近江に残る数々のドラマゆかりの地や冬の北近江グルメを取材いただきました。今後はドラマの放送にあわせて、『功名が辻』の舞台・近江=滋賀が新聞や週刊誌などで広く紹介される予定です。



秋晴れのもと賤ヶ岳山頂からの大パノラマは記者も大絶賛でした

また、県をあげて『功名が辻』にちなむ観光誘客キャンペーンも展開中です。

12月には、東京・京都の各駅においてイベントキャンペーンを開催し、ドラマゆかりの地・滋賀の旅をPRしました。3月25日～26日には名古屋市・栄でもキャンペーンを開催します。会場では昨年夏の県内ロケの様子も写真展示されますので、お近くにお越しの際にはぜひお立ち寄り下さい。

滋賀県観光情報

<http://www.biwako-visitors.jp/>



“北近江キャンペーン”のマスコット「かずとよくんとちよちゃん」です

最新鋭の自衛隊が戦国時代にタイムスリップ!

ドラマ『戦国自衛隊・関ヶ原の戦い』日本テレビ



本物そっくりですが、実は美術スタッフの手による劇用車です

白刃をきらめかせて殺到する戦国武者と土煙を巻き上げて疾走する戦車や戦闘ジープ。ありえない取り合わせと迫力ある映像が大きな話題を呼んだ映画『戦国自衛隊』。26年前の公開時に大きな話題を呼び、昨年

のリメイクも記憶に新しい半村良氏のSF小説「戦国自衛隊」が、今度はドラマ化されることになりました。演習中の自衛隊が突然、戦国時代にタイムスリップ。徳川家康と石田三成が天下をかけて争った1600年の「関ヶ原の戦い」を舞台に、アクションあり、人間ドラマあり、サスペンスありと多彩な魅力で映像化され、大人から子供まで楽しめる内容です。

オフィスでは制作者に対して、作品の持つスケールにふさわしいロケ地を紹介。昨年11月から12月にかけて彦根城や高島市、竜王町でロケが行われ、主演の反町隆史さんや渡部篤郎さん、津川雅彦さんらによる関ヶ原の戦いやタイムスリップシーンなどの撮影が行われました。

ドラマは、日本テレビの「DRAMA COMPLEX」枠にて2週にわたって放送予定です。

放送予定日：第1部 1月31日(火)、第2部 2月7日(火) 午後7時～
日本テレビ公式WEBサイト：<http://www.ntv.co.jp/d-complex/>

滋賀の旅はとってもいいニヤ～

『めざましテレビ』“トロと旅する”フジテレビ

朝の人気情報番組『めざましテレビ』の人気コーナー「トロと旅する」で、トロたちが滋賀を旅します。

ロケが行われたのは昨年12月。やって来た撮影クルーの中には、もちろん可愛いトロの姿も。撮影後にCGで合成されるトロですが、実は撮影現場で活躍するのもやっぱりトロです。撮影用に特別に作られたぬいぐるみのトロは、CGで描かれる大きさに合わせてあり、撮影前には必ずぬいぐるみのトロを置いてカメラテストをします。CG技術が進歩する前は、撮影後の合成を考慮して距離などを緻密に計測しながら撮影するため、とても手間がかかったことなど、ほんわかムードいっぱいの映像の裏には、番組スタッフの数々の苦労があったそうです。

放送は土・日曜日を除き、1月16日(月)から27日(金)の2週間、『めざましテレビ』のなかで放送予定です。各日とも午前7時30分前後の1分半ほどのショートコーナーです。ぜひお見逃しなく!



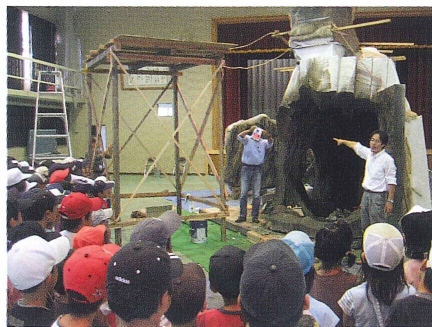
長浜市内の料理旅館「浜湖月」でのロケ風景。美味しい料理を美しく見せるのは撮影スタッフの腕の見せどころです



映画ってすごい! 撮影セットに大騒ぎ

昨年県内で行われた劇場公開映画の長期ロケでのこと。ロケもひとやま越えた10月中旬、使われなくなった余呉町内の小学校の体育館に作られた撮影セットの見学会が、地元小学生を対象に開かれました。体験学習の一環として、子供達はプロデューサーからセットの説明を受け、撮影用の小道具に触ってみたいとワイワイ大騒ぎ。撮影現場を記録したメイキング映像も見ながら、大勢のスタッフの力によって1本の映画が時間をかけて作られていく様子に目を輝かせていました。

この作品は、昨年オフィスが映像誘致に取り組み、メインロケ地として滋賀での長期ロケが実現したものです。



今後、映画の公開情報にあわせて県内ロケの様子も紙面でも紹介していきます。どうぞご期待下さい。



新年あけましておめでとうございます。私たちは、滋賀ロケーションオフィスの活動を支援しています。

滋賀県信用保証協会
滋賀県興行協会
関西電力株式会社
株式会社ゼンリン
琵琶湖汽船株式会社
宮川印刷株式会社
大津プリンスホテル
株式会社TMオフィス

株式会社滋賀銀行
株式会社びわこ銀行
西日本電信電話株式会社
日本カーソリューションズ株式会社
びわ湖放送株式会社
綾羽株式会社
近江タクシーサービス株式会社
株式会社ヒサダ昭栄堂

(敬称略・順不同)

新年あけましておめでとうございます。オフィスにとって、昨年は漢字一文字であらわすなら、まさに「忙」。大河ドラマロケ以外にも、エキストラ出演延べ1,300人を数えたドラマ『がんばっていきまっしょい』の瀬田ロケ、劇場映画の長期ロケなど、スタッフ全員がフル稼働、空前絶後の忙しさでした。天候などに泣かされ撮影スケジュールも二転三転、そのつど制作者のわがまま(?)にもご協力いただきましたサポーターならびに関係各位に厚く御礼申し上げます(笑)。スタッフ一同、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

編集
後記